

「あんな苦労が…」
「こんな成功例が！」



環境美化推進員の声

各地域で環境美化推進員と懇談会を開催しています。

その席上やアンケートでお寄せいただいた中から、効果のあった取り組みをご紹介します。

- 当日収集するごみを大きな字で書いたカードをごみステーションに掲示した。
- ごみステーションの数を増やしたら、「自分達のステーション」の意識が高まった。
- ごみステーションまわりの清掃や、草取りなどをしていつもきれいに保つことが、汚されない基本。
- ごみ当番を1週間やることでごみの状況がわかるし、自覚が持てる。
- 町内と子ども会の連携により、ごみステーションに子どもたちの描いた絵を取り付け、あいさつ運動を行った。互いにあいさつすることで自然とマナーを守ることに効果があったように思う。



▲ごみステーションに取り付けた絵。ごみ出しの度、思わずにっこりし、ほっとするそうです。(上中島2町内会)

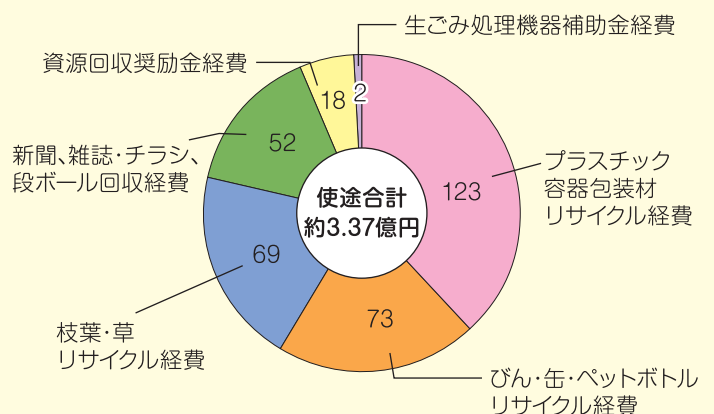
平成22年度

ごみ処理にかかった経費は…?

平成22年度のごみと資源物の処理経費は、約29億6,300万円です。市民1人当たりで換算すると1年間で約10,500円かかっていることとなります。

指定袋等の売上げによる収入は、約3億3,700万円でした。右のグラフのとおり、得られた収入は、すべてごみの減量と資源のリサイクル事業に充てていますが、リサイクルには膨大な経費がかかっています。マイボトルを持参する、生ごみや草はたい肥化容器で処理するなど、ごみも資源物も減らすために、できることから始めましょう。

平成22年度 指定ごみ袋等収入の用途 (単位:百万円)



環境にやさしい植物性インクを使用しています。